

目次	
信大教育学部生への講義.....2	信州「教育の日」報告.....6
100年館事業の紹介.....3	伊藤先生と知事との懇談.....7
上小教育会 教育資料委員会の紹介...3	世界の学校⑦.....8
令和5年度「自主的校内研修補助事業」 補助金額のご報告.....4～5	災害見舞金PR.....9
お知らせ.....5	SNSのPR.....9
哲学の道 報告.....6	1月の研修ガイド.....9
	今月の一枚.....10
	100年館の絵.....10

子どもたちの息づかいを感じながら 子ども絵画中央審査会 信州大学教育学部の学生がアシスタントとして参加



▲ 11/24 第37回「今を生きる子どもの絵展」中央審査会を行いました

今年7月に行われました子ども絵画企画展で、次のような感想を寄せていただきました。

20年以上前に選ばれたときはびっくりしました。また息子の絵が見られるとは思っていませんでしたので、案内ハガキをいただいたときはうれしかったです。息子は今33才。パティシエをしています。絵を描くのは得意だったので、パティシエにつながっているのかな？とも思っています。数十年後にまた見ることができるのでしょうか…？主人と二人、とても楽しいうれしい時間を過ごしました。みなさんの絵もすばらしかったです。

信濃教育会に永年保存されている子ども絵画も18,700点余りとなりました。子どもたちの絵は見る人の心を豊かにし元気やエネルギーを与えてくれます。

中央審査会では、全県約5,000作品の中から地方審査会を経て最終的に155作品が永年保存作品に選ばれました。今年度は信州大学教育学部の学生16名がアシスタントとして参加していただきました。子どもたちの絵からは、描いたそのときの思いや感動、その子の暮らしや生活を感じる作品が多く子どもたちの声が聞こえてきそうな、そんな思いがいたしました。「子どもが表したかったものは何なんだろうか」「きっとこういうことを描きたかったのかな？」と、表現主題や絵のよさを語り合いながらの審査会は先生方にとっても学生にとっても貴重な学びの場となりました。

選ばれた作品は令和6年3～5月に信濃教育会館で、10月には安曇野の生涯学習センターで展示いたします。是非、多くの方にご覧いただければ幸いです。

信州大学教育学部との連携協定に基づく

現職教諭によるゲスト講義を実施

教師の仕事はブラック…な部分もあるかもしれないけれど、それを上回る魅力がある！

「先生の日ってどんな一日になるんだろう？」「子育てをしながら学校の仕事もうまく続けられるかしら？」教職を志す学生の皆さんの素直な疑問や不安は計り知れませんね。

10月24日、信州大学教育学部との連携協定事業の一環として、長野県内の現職若手教諭によるゲスト講義（受講生：252名）を松本キャンパスの学部1年次生を対象として実施しました。

今回は県内各地の小中学校教諭5名が「日常」「授業」「部活動」「子育てとの両立」「学生生活の経験がどのように教員生活に生かせるか」の5つのテーマを軸に講演を行い、それぞれが充実した教員生活を送っている様子がうかがえる内容でした。最後には学生に対して「ぜひ教員になって一緒に働くことを楽しみに待っています」とコメントがありました。

武田会長からは長野県教員の魅力について、「地域密着性が高い」「学校や教員の自立意識が高い」という長野県教育の特色を中心にお話をしました。

質疑応答では、学級経営に関する鋭い質問に講師が考えられる場面もあり、教員の仕事について魅力の詰まった内容に、学生が非常に興味をもって熱心に聴講していた様子がうかがえました。

▲ 市民タイムス R5,10,28（土）より



三岳小学校は本年度開校150年を迎え、11月2日に150周年記念「みたけスマイルフェス」を開催しました。この行事の開催に際し、本校の今までの歩みを振り返る一つとして、信濃教育会博物館に永年保存されている信州子ども絵画100年館の絵画を展示したいと考えました。周年行事に合わせて貸与のお願いをしたところ、快諾いただき、保存されていた本校児童の作品37点すべてをお借りして展示することができました。

当日お集まりいただいた地域の方は、一枚一枚の絵をご覧になりながら、「懐かしいわね」「全部三岳の子たちの作品なのね」などと口々に仰っていました。中には現在本校に通う児童のお父さんが小学校1年生の時に描いた絵もあり、その絵を見ながら「もうお父さんになっているわよね」「元気いっぱいだったわよね」と目を細めていらっしゃる方もいました。

校舎などの写真だけでなく、子どもたちが一筆一筆に思いを込めた作品を通して、本校で子どもたちが学び、過ごした日々を感じることができる幸せな時間となりました。



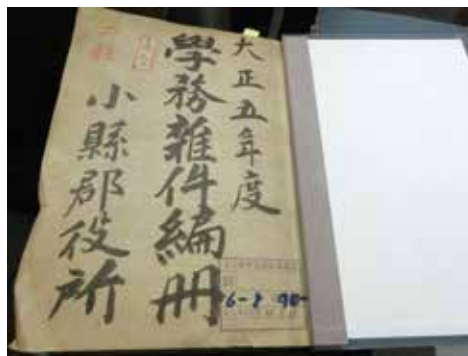
「記録・資料」から「アーカイブ」としての位置づけへ

小県上田教育会 教育資料委員会に学ぶ

小県上田教育会では大正期の教育を物語る資料「学務雑件編冊」の「件名目録」作成に取り組まれているということをお聞きし上小教育会館に、橋詰文彦教育会長、教育資料委員会の中野裕顕校長、水野哲委員長を訪ねました。貴重な資料が大量に残されていたこと、さらには年度ごとに綴ってあったものが小県上田教育会により昭和期にハードカバーで再製本されていたことにも驚かされました。

当時の役人が記した手書きの索引を丁寧にテキストに起こしデジタル化していく作業は、旧字体、変体仮名に加えくずし字も多く解読に苦心されたようです。これによりどんな内容の文書がどこにあるか一目瞭然となり、一群の古い資料がアーカイブとして命を吹き込まれた思いがいたしました。特に教員の研修にかかわる文書が多いことからは大正期の信州教育の充実ぶりが伺えました。

アーカイブとして過去を尋ねる道を拓くことの意味はとて大いように感じます。長野県の教師である私を私たらしめている過去の記録は、私自身を探っていくことでもあり、過去の教師の熱い思いや優れた実践、地域の期待に触れることは私の未来を創ることにもつながるのではないかと思います、上小教育会館を後にしました。(参考 「上田・小県」第214号 (R5,7,14発行))



▲学務雑件編冊…明治・大正期に小県郡役所学務課で作成された様々な文書の簿冊

令和5年度

「自主的校内研修補助事業」補助金額のご報告

会員の職能向上のために学校独自に行う校内研修を支援する「自主的校内研修補助事業」について、7月末に募集を締め切り、下記のとおり補助金額が決定しましたのでご報告いたします。

多くの学校よりご応募をいただきました。有効にご活用いただくと共に、次年度も積極的に応募していただきたいと思います。

No	学 校 名	①研修内容 ②講師（敬称略）	補助金額
1	浪合小学校	①「はじめに子どもありき」の考えのもと、子どもの見取り、教材、学習課題等を学ぶ ②平野朝久	20,000
2	旭町小学校	①「子どもと共に作る探究的な学び」について、職員のリフレクションや講師の指導から学ぶ ②畔上一康	24,000
3	新野小学校	①性教育に関連付けた命の教育実践 ②助産師	26,000
4	中野平中学校	①働き方改革として中野平中でできそうなこと ②大野大輔	23,000
5	井上小学校	①経営理念「対話する学校」の実現をめざし、様々な研修を行う中で、職員同士が対話し資質能力を育む 地域企業見学研修他	26,000
6	八坂小中学校	①授業クリニックを行い、「学び合い」を根幹とした授業づくりについてご指導をいただく ②村瀬公胤	24,000
7	緑ヶ丘中学校	①映画「みんなの学校」を鑑賞し、教育実践を積み上げていく検討の機会とする	24,000
8	松川中学校(松川町)	①講演「人権教育を進める上で大切にしたいこと」 ②永池隆	21,000
9	下久堅小学校	①映画「みんなの学校」を鑑賞し、教育実践を積み上げていく検討の機会とする	21,000
10	松尾小学校	①木村泰子先生が校長をされた大空小学校を映画化した「みんなの学校」を鑑賞し、自らを振り返り今後の実践を改革していく機会とする	24,000
11	松本養護学校	①多様なニーズに応える学びの場の提供 ②宮内かつら 他	12,000
12	大町南小学校	①「自ら関り、学び合う授業の創造」の視点で授業改善に取り組んでいる ②藤森裕治	22,000
13	開田小学校	①演劇教育のワークショップ ②小林英樹	24,000
14	竜丘小学校	①映画「みんなの学校」を鑑賞し、教育実践を積み上げていく検討の機会とする	26,000
15	西春近北小学校	①QUの分析や活用の仕方について理解を深め、児童理解・学級経営に役立てる ②加藤敬一	24,000
16	上諏訪小学校	①「子どもが豊かな心を育てていく学習」を目指して、授業研究・研修を行う ②奈須正裕	29,000
17	中川西小学校	①「学級づくり研修会」を実施し、岡田誠先生のご高話をお聞きすることで資質向上を図る ②岡田誠	27,000
18	豊科北中学校	①相互尊重・互恵的な「学び合い」の授業への改善を目指していく ②草川剛人、佐藤学	22,000
19	岡谷小学校	①児童の学力向上を支える前提としての教師の授業力向上を目指す ②志水廣	25,000
20	中沢小学校	①音楽会での全校合唱に向けて、子どもたちの歌唱力向上と先生方の指導力向上を図る ②富澤裕	25,000
21	春富中学校	①「指導と評価の一体化」を目指す授業づくり『新3観点の学習評価』『主体的に取り組む態度』（明治図書）の読み合わせ	22,000
22	第二中学校	①校内合唱指導研修会、授業改善研修会 ②未定	21,000
23	阿南第一中学校	①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の理解と単元内自由進度学習の研究 ②佐野亮子	29,000
24	木島平中学校	①「共同的な学び」について、授業公開・授業研究会を行うことを通して職員の指導力向上を目指す ②小国喜弘 他	21,000
25	赤穂東小学校	①「自分の考えを持ち、自分で判断し、自分から動き出す子ども（学校）」に向けた職員研修 ②田中光顕 他	27,000
26	中川東小学校	①「東小の教育を語り合う日」を開催し、「多様性を認め合う環境」を目指す授業公開を行う ②小国喜弘	22,000
27	箕輪中部小学校	①QUの分析や活用の仕方について理解を深め、児童理解・学級経営に役立てる ②加藤敬一	24,000
28	高社中学校	①授業実践をもとに、授業を観る視点や生徒の学びのとりえ方などを学ぶ ②村瀬公胤	21,000
29	丸子北小学校	①「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、「学び合い」学習を提唱している講師を招き、研修を深める ②村瀬公胤	23,000
30	泰阜小学校	①自由進度学習の考え方と指導法を適切に学び、今後の学習指導に生かす ②伏木久始	24,000
31	福島小学校	①単元内自由進度学習の推進について、共通の認識をもって児童への指導に取り組めるようにする ②伏木久始	28,000
32	安曇養護学校	①重度重複障がい児を担当する教員が児童生徒と一緒に楽しく安全にサーカスパフォーマンスを行うために必要なスキルを学ぶ ②金井ケイスケ	19,000
33	豊丘小学校	①教員のICT活用指導力を高め、時代を担う児童に求められる資質や能力を育成する	23,000
34	日野小学校(中野市)	①真山城址を主の目的地として歩きながら、歴史的背景や道中の自然環境等について学ぶ機会とする ②阿藤千春	27,000
35	並柳小学校	①特別支援教育の充実を図るため、信州型UDを学び、学びやすい学習環境や生活環境づくりを実践していく	27,000
36	東小学校(小諸市)	①1読み合わせ研修『道遠し』（毛涯章平） 2特別な配慮を要する児童への支援のありかた ②依田哲郎	22,000
37	泰阜中学校	①自由進度学習の考え方と指導法を適切に学び、今後の学習指導に生かす ②伏木久始	25,000
38	水明小学校	①WEBQUのデーターを分析し、学級経営を振り返ったり今後の学級経営に生かしたりする ②小池良江	21,000
39	東春近小学校	①人権教育、福祉教育の充実 ②西澤弥生	22,000
40	伊那西小学校	①林間（学校林）に生息している野鳥について学ぶ ②戸谷省吾	18,000
41	清明小学校	①子どもが中心となる授業や学級経営への改善 ②岩川直樹	25,000
42	五加小学校	①愛着障がいの基本的な知識、愛着障がいの児童への指導支援について ②大塚美奈子	27,000
43	西春近南小学校	①多様性を認めること、自己肯定感を高めることの大切さを学ぶ ②山本恵吾	24,000
44	埴生中学校	①ウェルビーイングな埴生中をめざし、クロームブックを活用した4人グループの話し合いを実現するための書籍購入	25,000

45	手良小学校	① QU の分析や活用の仕方について理解を深め、児童理解・学級経営に役立てる ②加藤敬一	24,000
46	松本ろう学校 教務部支援教育部	①聴覚障がい教育及び発達障がい等にかかわる専門性の向上を図ると共に、教職員間の和を深める ②庄司和史	30,000
47	軽井沢西部小学校	①旧職員が自立的な学び手として学校づくりに参加できるようにする ②田中光夫 他	22,000
48	松川中央小学校	①子どもを中心に据えた学校づくり、学級づくり、探究的な学びについての研修 映画「夢見る小学校」視聴	23,000
49	白馬中学校	①「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」を推進するため授業に即した研修を行う ②谷塚光典	20,000
50	篠ノ井西小学校	①「子どもが問いをもち、心ゆくまで探究する学びのあり方」実現のため情報端末を利用した学習者主体の授業のありかた ②佐藤和紀	26,000
51	松本県ヶ丘高校	①本校卒業生のシェルバ斎藤さんのお話を拝聴し、生徒も職員も元気が出る研修とする ②シェルバ斎藤（斎藤政喜）	11,000
52	長野盲学校	①視覚支援教育の専門性を深めるための研修会を開催する ②新井賢治	13,000
53	稲荷山養護学校	①強度行動障害に係る「行動支援」についてより実践的な研修を行う ②下山真衣	16,000
54	望月小学校	①子ども同士がかかわりながら学習を進める学び合いの授業の実現 ②中島一彦	22,000
55	屋代中学校	①全校合唱の更なる充実 ②唐沢史比古、宮坂節子	27,000
56	白田小学校	①算数の授業づくりを通して、児童理解及び教材理解を促進し、職員一人一人の授業力向上を図る ②志水廣	23,000
57	飯田東中学校	①カント著『永遠の平和のために』の読み合わせ	25,000
58	山本小学校	①山本地区における地域の史跡・名所・文化財を巡り、地域材についての見識を深める ②地域住民、住職	23,000
59	豊田小学校（中野市）	①小学校の研修会に中学校の教員も参加し、「学び合い」について研修を深める ②村瀬公胤	25,000
60	伊那中学校	①『子どもたちはどう学ぶか』～縦と横の連携の中で～というテーマを掲げ、研究推進をする ②新井仁	25,000
61	若槻養護学校	①「活き活き×やりがい職場調査」の昨年度と本年度の結果から、ワークエンゲージメント、職場環境等の考察と働き方改革について学ぶ ②荒井英治郎	21,000
62	会染小学校	①主体的・対話的で深い学びのある授業とはどうあるべきか ②村瀬公胤	26,000
63	高瀬中学校	①「自己決定と振り返り」を研究テーマに、協働的な学びを軸にした授業づくりを推進する ②村瀬公胤	25,000
64	池田小学校	①一人も取りこぼさない魅力ある授業づくりと家庭学習のありかた ②村瀬公胤	26,000
65	高遠小学校	①地域に根ざした学習を展開するため、様々な方々とかかわりながら教職員の力を伸ばす研修 ②加藤敬一、小林まゆみ他	29,000
66	千栄小学校	①地域教材の掘り起こし、職員運動・職員研修等の活動を通して、職員の親睦を深める ②地域住民	23,000
67	延徳小学校	①「一人一人の子どもの居場所がある学校」「保護者・地域から信頼される学校」「教師にとってやりがいのある学校」を目指すため児童理解にたった授業改善をする ②小国喜弘	21,000
合計補助金額			1,562,000

「短期視察研修補助事業」と「学術的な研究調査に励む教師への助成事業」「子どもたちの探究的な学びを実現する教師への助成授業」は引き続き募集しておりますので、ぜひご応募ください。

お知らせ

食堂「信濃」閉店のお知らせ

信濃教育会館2階の食堂「信濃」は9月末より大きな会合時のみの営業となっておりましたが、12月末をもちまして閉店することとなりました。

昭和58年の会館新築とともに開店し、約40年の長きにわたり、多くの皆様に支えていただきました。心より御礼申し上げます。

27年間食堂「信濃」をご利用いただきありがとうございました。皆さんの憩いの場が無くなったことは少々さびしいですが、あとは管理人としてもう少し仕事をさせてもらいます。皆さんよろしく願います。

笠原俊男・隆子（※平成8年度前任者より経営を引継ぐ）



カップ式自動販売機が設置されました！

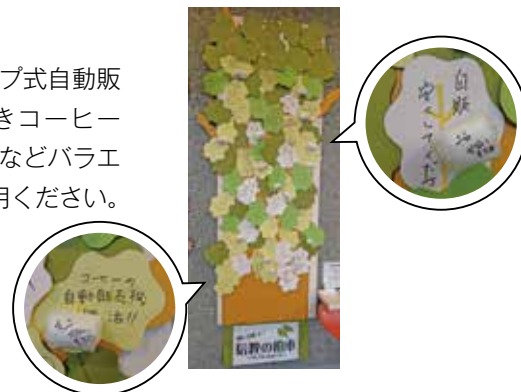


かねてより会員の皆さまからご要望の多かったカップ式自動販売機が2階講堂前に設置されました。本格ミルク挽きコーヒー（110円）の他、ココアやコーンスープ（各100円）などバラエティ豊かなラインナップとなっております。ぜひご利用ください。

★願いが叶うかも！？

どんなに些細なことでも1階ロビー「信教の柏木」へ託してください。

皆さまの思いを受け止めます！



生涯学習講座「哲学の道」 哲学へのいざない—言葉と沈黙

「言葉は経験をどこまで表せるのか？」言葉について考えることで、私たちの人生が豊かになる!!

10月28日(土) 信濃教育会生涯学習センター講堂 / オンライン
受講者数 会場 62名 / オンライン 13名

京都大学名誉教授 藤田正勝先生から、芭蕉の俳句等を例に、言葉の限界とその限界を超えていく世界をわかりやすくお話していただきました。言葉について考えると、俳句文化を生み出した日本語の持つ豊かさが見えてきました。

◎俳句や短歌の奥深さは今までも感じてきていますが「創造的な読みに読み手もまた参加する」「言葉のふくらみが共有される」という点に共感しました。現代の教育にも求められている協働的に学ぶこと、見方考え方を生かしながら深く学ぶことに通じていると感じました。「古池や蛙とびこむ水の音」は言葉にできない情景と静けさが無限に広がっていると私は考えています。

◎言葉が世界の見え方やあり方に深く関わっていること、言葉では全てを表すことはできずその奥にふくらみがあることなど言葉の特徴や力について学び、考えることができました。



第20回

信州「教育の日」 宮田大会

が開催
されました。

11月18日(土)に信州「教育の日」宮田大会が宮田村民会館で開催されました。

今大会は、「ともに学び ともに育つ 環境づくりをめざして」をテーマに、4年ぶりに参集しての開催となりました。さらにオンラインでの参加者も募り、参集では250名、オンラインでは62名の参加者を得ての大会となりました。今年は、7つの分科会を設け、地元宮田村や上伊那各地において、様々な立場で子どもたちの教育に関わっている方々に日頃の実践を発表していただき、参加者との意見交換を通して、信州教育の今とこれからについて考えることができました。その他、三行詩授賞式や宮田村の観光紹介、伊那養護学校高等部生徒の製品販売などにより、大会を一層中身の濃いものにしていただきました。

当日の様子は、信州「教育の日」ホームページ(QRコード)から視聴可能です。是非ご覧ください。



今日に活かせる信州教育には一体どんな視点があるのか

信州教育の伝統を活かして未来の長野教育をつくるにはどうすれば良いのか

「信州学び円卓会議」（県民文化部県民の学び支援課）に関わって、10/4（水）、伊藤純郎氏（筑波大学名誉教授）が阿部守一県知事に信州教育に係る講義を行いました。以下はその要約です。

信州教育の特色とは

- 柳田国男は「信州は知識欲に燃えて居る国であります。自分の疑を、疑惑を可成り率直に提出する国であります」と述べているように信州の子どもたちは、なぜ・どうしてをストレートに先生におつけます。信州の教師たちは子どもにまなざしを向けて、子どもの疑問（問い）を大切にし、子どもの発見を重視してきたところにあると思います。
- 教員は必ずしも自分の赴任先が生まれた地域とは限りません。たとえその村の出身でなくてもその村の出身者と同じくらい地域を勉強して郷土研究を行いました。郷土教育として自主的なカリキュラムを創って詳しく教える、それを「村住みの教育」と言いました。
- 「提灯学校」という言葉に象徴されるように、先生方は校内研修や同好会で互いに夜遅くまで学び合っていました。
- 先生方には教育者であるという「聖職意識」がありました。「教権の独立」。教権というのは労働者という意味でなく、教師として人格をもって徹底的に教育にあたる、そういう意味での教権。自分の教育に対しては自分なりのポリシー・考え方があり、求道的・徹底的に本を読んでいた先生たちがいました。
- 子ども、学校、先生と三位一体の教育重視の姿勢がありました。保護者は教育を重視し先生方に対する尊敬も半端ではなかったようです。信州は就学率が高く、学校設立に住民がお金を出していた地域もありました。

信州教育の伝統を活かして未来の長野教育をつくるために

- 子ども、教員・学校、保護者・地域の実態を精確に把握すること。学校統廃合によって学区が拡大し、おらが村の先生、おらが村の学校という意識がだんだん薄れていっています。教材としての地域をどうやって活用するか。地域教材、地域人材の活用をどんどんやるべきだと思っています。
- 信州の女性教員の存在、女性教員へのまなざしを歴史的にもう一回捉え直す必要があると思います。
- 信濃教育会と行政との相互連携。長野県の教育はこうだと共通理解をして、その前提として理想とすべき信州教育とは何だろうかを考えていくことが必要だと思っています。
- 先生方の研修の場の充実。教員免許状更新が昨年なくなり官製研修が校内自主研修になります。今まで以上に信州教育の伝統を活かして同好会活動の充実や自主研修の場を増やしていきたい。
- 専門性がだんだん弱くなっている。何を教えるかよりも、いかに教えるかが主流になっているように思います。専門性をもっと重視したい。
- 川端康成は「郷土文化の最も発達した国の信州は教育と教員とを忘れて、到底語れるものではない」と述べています。信州の教育の歴史、信州にはこういった教育実践や教育運動、教育遺産があったことを学ぶ必要があります。はしないかと思っています。





台北の今



台北日本人学校 登内 恭平

【コロナ後の台北】

台湾で有名は夜市に出かけると、あちらこちらから日本語の声が聞こえてきます。コロナが猛威を振るい、観光業に大きな打撃を与えたこの数年間を埋めることはまだまだできていないようですが、少しずつかつての賑わいを戻しつつある台北です。私が感じる台湾のよさを二つ紹介します。一つ目は積極的なコミュニケーションが多いことです。外国の方と話すことに臆することなく、言葉で伝わらなければジェスチャーを使い、それも無理なら誰かを呼んで…とあらゆる手段で、伝えることを大切にしています。私も困っているところに声をかけてくれたことでどんなに助けてもらえたことか。海外生活の不安が和らぐ瞬間です。二つ目は、「没関係（メイグワンシー）」の文化です。「まあなんとかなるよね」という寛容な雰囲気と言い換えられると思います。うまくいかないことや、間違っている、まずは「没関係」と言ってくれる台湾人の優しさは、みんなが穏やかな気持ちで生活していくための基盤になっているのかなと感じています。

昨今、日台友好がフォーカスされることがあり、日本のニュースにもなっていると聞いていますが、私の勤務している台北日本人学校も日台友好の懸け橋の一部を担っていることを日々実感しています。

【コロナ後の台北日本人学校】

さて、台湾には日本人学校が三つあり、私が勤務する「台北日本人学校」は、台湾の政治経済の中心地である台北にあります。現在の校舎は、台北の中心から少し離れた北部の天母地区にあり、2021年度より新校舎での授業がはじまりました。

新校舎のコンセプトは「つながる学校 ～子どもたちが楽しんで通う学校～」です。

①様々な学びにつながる

学校図書館の機能以上の情報の場であり、学びの場となっているメディアセンターが本校の大きな魅力の一つです。各教室からアクセスしやすい教室棟の中心に設け、国際理解やメディアを活用した学習の拠点となっています。また、定期的にイベントが開催され、児童生徒の憩いの場にもなっています。

②世界につながる

少人数で学ぶ外国語専用教室を設置して、小学校1年生から充実した英語と中国語の授業を実施しています。また、茶道体験や夏祭りなどの活動を通して日本文化に親しみます。そのうえで台湾の子どもたちと行う交流は文化の違い、多様性に触れるきっかけとなっています。

③未来につながる

全館に高速 Wi-Fi を整備した新校舎では、どこからでもストレスなくインターネットにアクセスできます。タブレット端末を使用することで場所や空間を選ばない授業内容の幅が広がります。全教室にプロジェクターを設置して、授業内容や成果を共有・発表するなど、ICT 機器を使った主体的で対話を伴う学習に取り組んでいます。

このような新校舎のコンセプトにも負けない先生方の熱意に日々多くのことを学んでいます。先生方の中にも様々な考えがありますが、「児童や生徒のよりよい学び」という大きなゴールに向かって、私もその一員として日々精進しているところです。



盛大に行われる夏祭り



台湾の春節にも観光客が戻ってきました



メディアセンターの風景



新校舎の昇降口



これからの季節・・・雪害等にも見舞金が支給されます 災害見舞金事業について知っておきましょう！



死亡・高度障害・後遺障害・災害（けが）通院、入院・自然災害による不動産の損害に対する見舞金制度があります

会員同士の「相互扶助」の精神によって続いている事業で、信濃教育会員であれば、どなたでも受けられます。

例えば、これから厳寒、大雪の季節を迎え、思わぬ事故や災害に遭遇することがあります。過去5年間だけでも、9件の大雪による災害（屋根、塀、雨樋、テラス、バルコニー、車庫、カーポート等の不動産に対する損害※経年劣化は対象外）に、4,609,733円の見舞金支給がなされ、不慮の事態に陥られた会員やそのご家族のためにお役立ていただきました。

信濃教育会ならではのこの事業について理解を深め、広めていただければと思います。

請求には「災害見舞金交付申請書類」の提出が必要です。

申請内容に合わせた書類をお送りしますので、信濃教育会へお電話ください。

信濃教育会に災害見舞金制度があるから、電話するといいわよ！



大雪で家が壊れちゃった…

信濃教育会総務・会計部

〒380-0846 長野市旭町1098

TEL 026-232-2470

FAX 026-232-1892

信濃教育会の情報をいち早くお届けします！

信濃教育会の情報や各事業のご案内・お申込みはホームページでこまめに更新しています。また会長のFacebookや公式Instagramはホームページ右上のアイコンからリンク。旬の情報や耳よりな話題が満載。SNSへのフォローお待ちしております。



HPからSNSへリンク

「信濃教育会会長」のFacebook



武田会長自ら発信しています。友達リクエストをお待ちしています。

「信濃教育会」の公式Instagram



写真とショート動画で信教へいざないます。投稿は150件余りとなりました。

1月の研修ガイド

11日（木）●教育研究発表会 ◎東筑摩塩尻教育会館講堂 ◇各種研究委員会①教育課題検討委員会（北部）②会誌・会報委員会、教科等研究会①国語教育研究会②発達障がい支援教育研究会 本年度活動状況、成果および課題等の発表 ☆東筑摩塩尻教育会 0263-32-1187

26日（金）●授業研修会 ◎上伊那教育会館講堂 ◇松木健一 ☆上伊那教育会 0265-72-3416

26日（金）～2月6日（火）※オンデマンド配信

●郷土調査部研究発表会 ◎下伊那教育会ホームページ ◇西尾実研究、地質、歴史、気象の各委員会の研究発表 ☆下伊那教育会 0265-52-0808

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先



佐久穂小学校では、学校林を使った林業体験を行っています。四年はきのこの菌打ち、六年生は植林を体験しました。写真は、五年生が間伐作業を体験した時のものです。さくは森の子育成クラブのみなさんの協力を得て最新の林業技術を学びました。佐久穂の豊かな森を将来にわたり活用できる子どもたちを育てています。

信濃教育

予告



テーマ性の多様性について考える

希愛さんは、コンテで黒く塗った画用紙に白い線で絵を描いてみようという題材に出会って、「きれいな花を描いてみよう」という発想を大切に制作を始めました。コンテで塗ったところが真っ黒になりました。「塗ったところを手で擦ると、全体がきれいになるぞ」と気付き、手で擦って滑らかな下地を作りました。周りの友達が制作している様子にも目を配ると、均一に黒く塗っていました。「私は

ちよつと色の塗り方を変えてみよう」とアイデアが生まれ、下地に濃い所、薄い所をグラデーションのように配置することにしました。それぞれの下地の上には「花が開いている」「つぼみ」「綿毛のイメージ」の三種の花を描きました。消しゴムでコンテを消して白く描いた花も、指でコンテを擦り陰影をつけることで、立体感のある花が表現できました。

指導者
鈴木 智哉
(松本市立本郷小学校)

100年館の絵

令和4年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「3種類の花」

屋敷 希愛 (松本市立本郷小5年)

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026(232)2470
URL <https://shinkyō.or.jp> ✉ shinkyō@shinkyō.or.jp
編集兼発行人／武田 育夫

